

賀多神社

賀多神社は九鬼嘉隆にゆかりのある神社として知られています。海賊衆から水軍の司令官へと身を立てた九鬼嘉隆は、豊臣秀吉から 1592 年の朝鮮出兵に向けて新しい艦隊をつくるよう命じられた際、この神社の境内にある巨木から木材を切り出しました。嘉隆はこの木材を使って秀吉が賞賛した壮大な旗艦「日本丸」を建造しました。感謝の気持ちを示すため、嘉隆は神社を囲む丘陵地に 1000 本の杉を植えました。高くそびえていた木々のうち、境内の入り口のすぐ内側に立っているただ 1 本だけが現存しています。

また、賀多神社では毎年春に能と狂言（能の幕間に演じられる喜劇）が上演されます。この舞台で使用される面や装束は三重県の有形文化財に指定されています。